

2022 年度 あいの風とやま鉄道 利用状況等

2023 年 6 月
あいの風とやま鉄道株式会社

2022 年度のあいの風とやま鉄道の利用者数は全体で約 1,374 万人(前年比 118.6 万人 9.4%増)でした。

1 1日当たり利用者数

2022 年度の1日当たりの利用者数は、37,641 人で前年度を 3,249 人(9.4%)上回る結果となりました。

(1)利用者区分別の利用者数

利用者の区分別にみると、定期券利用者が 28,569 人で、うち通勤が 12,880 人、通学が 15,690 人となっており、定期外利用者は 9,072 人となっています。

それぞれの前年度比の増減は、通勤が 251 人(2.0%)、通学が 526 人(3.5%)、定期外が 2,473 人(37.5%)の増加となっております。

新型コロナウイルスまん延前の 2019 年度との比較では、定期外が△16.2%の減少となっているほか、全体でも△9.2%の減少となっており、コロナの影響は続いております。

表 1 利用者数等

区分	2022 年	2021 年	2019 年	2022/2021	2022/2019
利用者数 (千人)	13,739	12,553	15,129	9.4%	△ 9.2%
1日当たり (人/日)	37,641	34,392	41,337	9.4%	△ 8.9%
定期利用者	28,569	27,793	30,506	2.8%	△ 6.3%
通勤	12,880	12,629	14,128	2.0%	△ 8.8%
通学	15,690	15,164	16,379	3.5%	△ 4.2%
定期外利用者	9,072	6,599	10,830	37.5%	△ 16.2%
乗車券類	5,452	4,131	7,278	32.0%	△ 25.1%
ICカード	3,620	2,467	3,553	46.7%	1.9%

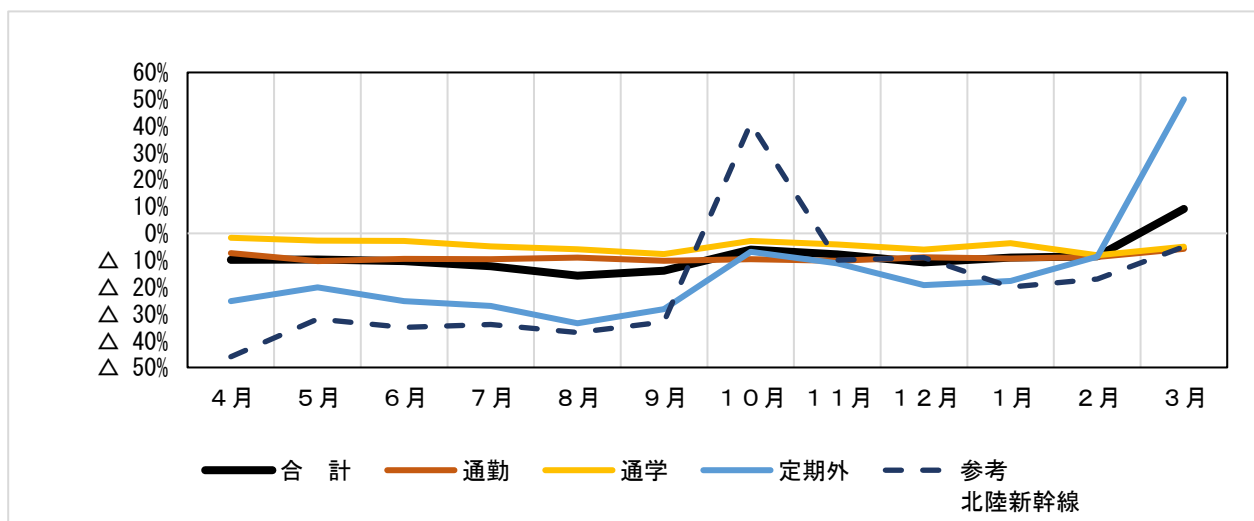
※端数処理あり

(2) 利用者数の月別増減率

月別の状況(合計)を 2019 年度比で見ると、コロナの感染が比較的落ち着いていた時期は、概ね10%の減少となっていますが、コロナ第7波の8月(富山県では富山アラート発出中)では16%近くの減少となっています。

ただ、10月には、全国旅行支援の効果や3月には、マスク着用が自主的な判断となるなどの制限緩和の効果が見られ、徐々に利用が回復しています。

図1 1日当たり利用者数の月別増減率 (2022年度/2019年度) (単位 人/日)



※北陸新幹線の2019年度… 10月は災害による長期運休あり。また、11・12月は90%運転。
… 1月・2月・3月は2019年1月・2月・3月比。

表2 月別利用者数増減比率

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	2021年度比	7.6%	13.1%	8.6%	5.5%	14.4%	13.5%	9.3%	4.2%	3.2%	6.1%	16.0%	15.0%
	2019年度比	△9.9%	△9.7%	△10.4%	△12.3%	△15.8%	△13.9%	△6.1%	△7.9%	△10.8%	△9.1%	△8.5%	9.1%
定期	2021年度比	1.6%	2.5%	2.3%	2.2%	4.9%	4.5%	3.1%	0.9%	1.3%	2.5%	5.1%	3.5%
	2019年度比	△4.1%	△6.1%	△5.7%	△7.0%	△7.4%	△8.8%	△5.8%	△6.8%	△7.4%	△6.3%	△8.5%	△5.4%
通勤	2021年度比	0.6%	1.1%	1.7%	1.2%	1.9%	2.6%	2.4%	0.7%	1.3%	1.6%	4.4%	4.6%
	2019年度比	△7.3%	△10.3%	△9.6%	△9.7%	△9.0%	△10.2%	△9.6%	△10.2%	△9.0%	△9.4%	△8.8%	△5.8%
通学	2021年度比	2.3%	3.6%	2.7%	2.9%	7.8%	6.1%	3.6%	1.1%	1.3%	3.3%	5.8%	1.9%
	2019年度比	△1.6%	△2.7%	△2.8%	△4.8%	△6.0%	△7.8%	△2.8%	△4.1%	△6.0%	△3.7%	△8.2%	△4.9%
定期外	2021年度比	34.7%	71.5%	44.4%	19.7%	56.3%	64.2%	36.5%	16.5%	9.0%	21.0%	66.9%	43.4%
	2019年度比	△25.2%	△20.1%	△25.2%	△27.1%	△33.5%	△28.3%	△6.9%	△11.2%	△19.3%	△17.7%	△8.6%	50.0%
乗車券	2021年度比	33.6%	65.3%	40.6%	14.9%	46.9%	52.7%	32.5%	11.4%	4.0%	14.8%	59.6%	37.5%
	2019年度比	△31.4%	△28.6%	△33.6%	△34.7%	△39.7%	△38.3%	△15.5%	△20.7%	△28.4%	△27.2%	△18.3%	38.8%
IC カード	2021年度比	36.5%	82.5%	50.6%	28.2%	74.5%	84.2%	43.3%	24.9%	16.8%	30.6%	77.5%	53.4%
	2019年度比	△11.4%	△1.0%	△6.9%	△10.7%	△20.2%	△6.5%	10.5%	7.4%	△1.5%	△0.1%	8.3%	70.6%
参考 北陸新幹線	2021年度比	64%	173%	122%	58%	129%	141%	71%	28%	21%	45%	127%	84%
	2019年度比	△46%	△32%	△35%	△34%	△37%	△33%	41%	△10%	△9%	△20%	△17%	△5%

2 駅別乗車人員、駅間通過人員等

当社線内の駅間の1キロ当たり通過人員数(輸送密度)は、富山駅・呉羽駅間が最も多く15,786人となっています。全線では、富山・高岡駅間で平均14,000人以上となっている他、石動・高岡間で7,500人以上、富山・黒部間で7,300人以上の通過人員数となっています。全線平均では、7,013人となっています。

各駅の乗車人員数は、富山駅が11,201人、高岡駅が5,721人などとなっています。

図2 駅間通過人数と運行本数

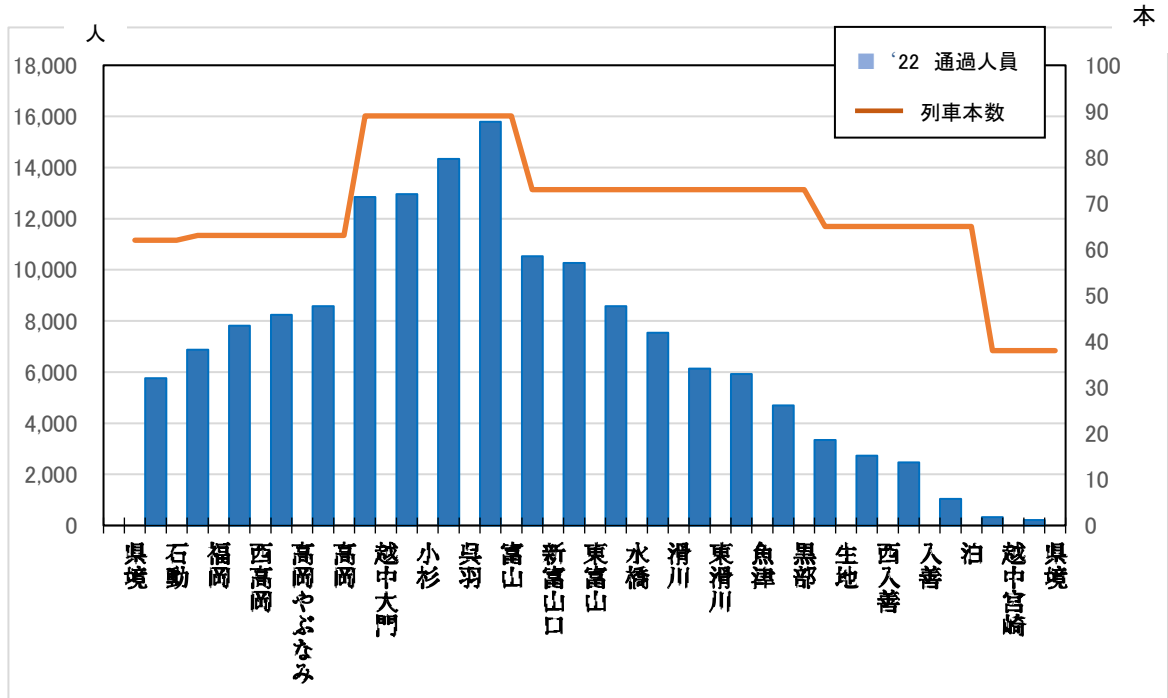


表3 駅別乗車人員数と駅間通過人員数(1日当たり)

(単位:人/日)

区間	乗車人員	通過人員	通過人員(平均)	運行本数
県境			5,766	62
石動	1,462	6,871	7,587	63
福岡	939	7,813		
西高岡	552	8,246		
高岡やぶなみ	507	8,579		
高岡	5,721	12,847		
越中大門	1,010	12,957	14,143	89
小杉	3,020	14,340		
呉羽	1,556	15,786		
富山	11,201			
合計			7,013	

区間	乗車人員	通過人員	通過人員(平均)	運行本数
富山	11,201	10,527	7,329	73
新富山口	243	10,264		
東富山	1,410	8,583		
水橋	650	7,544		
滑川	1,265	6,131		
東滑川	174	5,926		
魚津	1,784	4,701		
黒部	1,142	3,346		
生地	383	2,737		
西入善	154	0		
入善	863	2,468	2,309	65
泊	420	1,045		
越中宮崎	72	333		
県境	107	209	271	38

3 運賃収益

2022年度の運賃収入額は25億47百万円で、前年度比では18.6%の増加となっています。

利用者内訳では、定期外が39.4%、定期では通勤が1.1%、通学が3.6%の増加となっています。

JR切符の販売手数料収入も、JR線利用の増加に伴い、前年度比110.9%の増加となっています。

2019年度との比較では、全体で12.6%の減少となっています。

内訳では、定期で通勤が10.4%、通学が2.7%、定期外が16.6%の減少となっており、定期外を中心に、コロナの影響が残っています。

表4 2022年度 運賃収益額等

(単位:千円)

区 分		2022年度	2021年度	2019年度	2022/2021	2022/2019	
運賃収益 (税抜)	定期	通 勤	759,102	750,633	846,835	1.1%	△10.4%
		通 学	460,327	444,405	473,242	3.6%	△2.7%
		計	1,219,430	1,195,039	1,320,077	2.0%	△7.6%
	定期外	乗車券類	814,685	607,178	1,099,490	34.2%	△25.9%
		ICカード	513,195	345,093	493,645	48.7%	4.0%
		計	1,327,881	952,271	1,593,136	39.4%	△16.6%
	合 計		2,547,311	2,147,311	2,913,213	18.6%	△12.6%
JR切符販売手数料		26,800	12,707	43,695	110.9%	△38.7%	